全県一斉宣伝スポット　　２０１９・１１・１８　　碧南市山口春美作

☆安倍首相が主催する「桜を見る会」に、安倍首相の後援会員が数多く招かれていた問題が、連日のように報道されています。「税金を使った公けの行事を、後援会活動に利用していた」という疑惑が濃厚です。

「税金の私物化ではないのか」という、日本共産党の田村智子副委員長の追及に対して、安倍首相は一切答えませんでした。田村議員は、桜を見る会の前日には「安倍晋三後援会」主催の前夜祭が行われ、セットになっていることをしめし、「まさに後援会活動そのものだ」と強調しました。

☆庶民には消費税10％を押しつけておいて、自分たちは、税金を食い物にして後援会活動に利用するなど、許されていいはずがありません。日本共産党は、桜を見る会の問題は、首相の資格に関わる大問題として徹底追及します。野党のみなさんとも団結してとりくみます。

☆みなさん。10月１日から、消費税が10％に引き上げられました。庶民の家計にも日本経済にも、大きなマイナスとなり、景気の悪化がさらに進もうとしています。

☆税金の大原則の一つは、応能負担、税金は負担する力のあるものから取るべきということです。そして、生計費非課税。生きるために必要なものに税金をかけてはいけないという原則です。

消費税は、これらと全く逆の悪税です。あらゆる消費に税金がかかり、所得が低い者ほど負担が大きい。

☆消費税は、物を買って生きることへの罰則のようなものだ。日本共産党はそう訴えたいと思います。まず、消費税を緊急に５％に減税しようではありませんか。なぜ「５％への減税」か。理由は簡単明瞭です。２０１４年に５％から８％に上げたことが間違いだったからです。

☆実際に増税後の５年半、家計消費は年２０万円以上も落ち込んでいます。働く人の実質賃金は年15万円も落ち込んでいます。長い経済の低迷を本気で打開するには、５％への減税で暮らしを応援する、というメッセージを発信することが大事だと、日本共産党は考えますが、いかがでしょうか。

☆消費税を５％に引き下げるための財源は、この間さまざまな恩恵を受けてきた、大企業と富裕層に実力に合った負担を求めればいいだけです。大企業に、安倍政権以前の税負担を求めれば６～７兆円の財源が生まれます。富裕層の株の配当や取り引きに適正課税すれば３兆円程度になります。暮らし応援の政策で、経済を健全に成長させれば、税収を数兆円規模で増やすことができます。

☆みなさん。税制に対する考え方の違いはあっても、安倍政権がおこなった消費税大増税を見直すべきだ、景気や家計のことをもっと考えるべきだと、減税を求める政党・団体・個人が、一致点で力をあわせようではありませんか。１％のための政治から９９％のための政治に変えようではありませんか。そのために、「野党は共闘」から、「野党は連合政権を」へ、新しいスローガンでがんばり抜く決意です。

☆今、国会内での野党共同が大きな力を発揮しています。大学入試への民間英語検定の導入も、高校生や教員、父母のみなさんと力を合わせて延期させることができました。

「身の丈」発言で、子どもを差別し、教育の機会均等を否定する大臣は辞任すべきです。入試の英語検定もキッパリ撤回させましょう。日本共産党は野党共同の力でがんばります。「桜を見る会」来年度中止させることができました。安倍総理自身が真相を明らかにすべきとひきつずきがんばります。森友・加計問題、二人の大臣の辞任などモラル破壊の安倍内閣は退陣させましょう。

☆碧南市では、くるくるバスをせめて1時間に1本ははしらせ「車なしでも暮らせる碧南市に」署名運動を行っています。碧南市議会でも国会でも、住民のくらしと平和を守るためにがんばる日本共産党を大きくしてください。

☆マスコミではわからない、政治と社会の本当の姿と、全国の世直し運動の広がりをお伝えする赤旗しんぶんをご購読ください。

申込は、地元の市会議員山口はるみまでお願いします。